

全体	3
個別	02-01

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	第2次対馬市総合計画の進捗管理を行います。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 平成28年度から開始した第2次対馬市総合計画を推進するため、外部委員で組織する総合計画審議会において、各施策の進捗状況や目標の達成状況、事業内容について検証します。</p> <p>【指標】 施策の進捗状況・目標の達成状況の把握、事業内容の検証のため、総合計画審議会を1回開催します。 ●計画期間：平成28年度～平成37年度の10年間 ●達成年度：中間（平成32年度） 最終（平成37年度） ●計画の見直し：平成32年度</p>	
	2. 実績（成果）	
	<p>◎対馬市総合計画の主要施策、事業の各部局への進捗状況調査：平成29年6月 ◎調査結果による対馬市総合計画審議会の開催：平成29年8月</p>	
	3. 評価	○
	<p>対馬市総合計画審議会にて、「ひとづくり」、「なりわいづくり」、「つながりづくり」、「ふるさとづくり」の4つの挑戦において、14の最優先課題、36の具体的な施策の進捗状況、各目標項目の達成状況等の検証を行いました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>上記の検証を実施するほか、平成32年度に予定されている計画の見直しに向けた事前検討を行います。</p>	

全体	4
個別	02-02

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理及び必要に応じた見直しを実施します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>平成27年度に策定した「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる各種施策の進捗状況及び重要業績評価指標（KPI）を管理するとともに、新たなニーズや社会情勢の変化に応じ、事業・施策の追加等、総合戦略の見直しを行います。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合戦略に掲げる事業・施策の実施状況の把握 ●各重点施策に掲げる重要業績評価指標（KPI）の達成状況の把握 ●社会情勢の変化に対応した戦略の見直し 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●事業・施策の実施状況・実施計画、目標・成果の調査：平成29年7月実施 ●総合戦略推進会議の開催（施策の検証）：平成29年8月31日 ●対馬市総合戦略及び地方創生推進交付金の状況市議会検証 ：平成29年12月11日 ●施策の実施状況・検証結果、実施計画の公表（市ホームページ） ：平成30年1月 	
	3. 評価	○
	<p>平成27年度に策定した「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる各種施策の進捗状況及び重要業績評価指標（KPI）を管理するとともに、総合戦略推進会議及び市議会において、同戦略の進捗管理の検証等も計画どおり実施できました。今後も新たなニーズや社会情勢の変化に応じ、事業・施策の追加等を含む、総合戦略の見直しを行うとともに各年度における事業進捗管理を行っていきます。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>総合戦略における施策を推進するために、地方創生交付金の積極的な活用を図るとともに、国境新法関係を含む新規施策を反映するよう戦略の見直しを行っていきます。</p>	

全体	5
個別	02-03

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	対馬市景観計画の策定を進めます。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>対馬市景観計画の策定に向け、景観に関する現況調査を実施するとともに、市職員による作業部会及び外部委員を含めた景観計画策定委員会を設置し、景観形成に向けた課題整理及び景観計画の内容について協議を実施します。</p> <p>【指標】</p> <p>景観に関する現況調査、課題整理を行い基本方針を策定し、対馬市景観計画策定に向け作業を進めます。</p>	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●景観計画策定委員会の開催：4回（作業部会の開催無し） 【平成29年9月1日、12月13日、平成30年1月30日、2月26日】 ●対馬市景観計画【素案】完成：平成30年3月 	
	3. 評価	○
	<p>景観計画の策定に向け、本年度4回の委員会開催により、協議を進め一般区域と重点景観区域の設定、範囲、条件、基準など、概ね計画の素案は完了しました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>次年度、各地域での説明会、意見交換会等の開催により一定の合意形成を図りながら対馬市景観計画（完成版）を公表するとともに計画に基づいた対馬市景観条例を制定します。</p>	

全体	6
個別	02-04

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	対馬市主要施策に係るプロジェクト会議を設置します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 地域循環システムの発展的改編に伴い、今後の対馬市振興のために複数部局が連携して取組みを進めるべき施策を抽出し、「対馬市振興プロジェクト会議」として設置し、検討を進めます。</p> <p>【指標】 ◎対馬市振興プロジェクト会議【全体会】の開催：2回 ◎対馬市振興プロジェクト会議【部会】の開催：2回</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>新たなPTの検討段階まで終わりましたが、対馬市振興プロジェクト会議の開催まで至りませんでした。</p>	
	3. 評価	×
	<p>計画どおり進めることができませんでした。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>課内会議の協議を踏まえ、具体的な事業を実施します。</p>	

全体	7
個別	02-05

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。また、特定有人国境離島の地域社会の維持に係る交付金による雇用機会拡充支援事業を活用し、雇用を伴う創業や事業拡大を行う民間事業者の支援を行います。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談窓口等での相談受付：70件 ・創業者の目標数：10件 ・雇用者の目標数：30名 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ワンストップ相談窓口等での相談受付 受付数56件 ○創業者数 11件 ○雇用者数 80名 	
	3. 評価	○
	<p>相談件数は目標より下回りましたが、真の目的である創業や雇用者の数が目標以上に達成できました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>ワンストップ相談窓口の積極的な利用をお願いし、創業希望者の掘り起こしや、相談者が事業を進めやすい（雇用を生みやすい）環境を整えます。</p> <p>また、今年度までの補助金申請者や相談者へのアフターフォロー等の聞き取りから、より効果のある補助ができるよう補助金等の内容を見直します。</p>	

全体	8
個別	02-06

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の導入促進
	1. 組織目標	<p>【内容】 電力系統安定化のため、水素インフラや燃料電池の活用が注目されている中で、対馬においても水素社会を見据え、また、島内資源で製造が可能な水素の利活用を推進するため、小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の先進的な導入を図ろうとするものです。</p> <p>【指標】 関係機関(自動車・水素製造装置メーカー等)との関わりを維持しながら、塩害対策や導入事例など水素社会の動向を注視しつつ、引続き導入について検討します。</p> <p>達成年度：平成31年度 小規模水素ステーション、燃料電池自動車の導入</p>
	2. 実績(成果)	<p>小型水素ステーションメーカーと協議を実施し、塩害地域である対馬においても設置できるようになったことや、設置に係る要件や、概算費用、維持管理コスト等について、一定の情報を得ることができました。</p>
	3. 評価	<p>○</p> <p>・小型水素ステーション設置にかかる諸要件を明確にすることができました。</p>
	4. 今後の展開	<p>・平成30年度に設置に係る概算費用と維持管理費用を算出し、平成31年度の導入に向けて事業を提案します。</p>

全体	9
個別	02-07

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	木質バイオマスボイラーの整備
	1. 組織目標	<p>【内容】 島内のエネルギー資源活用及び低炭素社会化を図るため、公共施設に木質バイオマスボイラーを整備します。</p> <p>【指標】 旧いづはら病院跡地を利用した温浴施設への木質バイオマスボイラー設備及び付帯設備の整備に向けた検討を行います。</p>
	2. 実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画において、木質バイオマスボイラーの導入を検討しました。
	3. 評価	<p style="text-align: center;">△</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本計画において検討をしているものの、導入の決定には至っていません。
	4. 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、木質バイオマスボイラー導入に向けて担当課と協議を実施していきます。

全体	10
個別	02-08

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	国際航路に国内旅客を混乗させる取組を進めます。
	1. 組織目標	
	【内容】	福岡市と釜山市を結ぶ国際航路船に対馬北部からの国内旅客を混乗させていただき、比田勝～博多間の移動手段として利用することで、市民の生活利便性の向上と福祉の充実を図ります。
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> 九州郵船（株）、JR九州高速船（株）、対馬市で3者協議を実施 国土交通省との協議及び許可申請 CIQ関係省庁との協議、了承 国際港湾施設管理者との使用協議 ・市民への周知
	2. 実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> 九州郵船（株）、JR九州高速船（株）、対馬市で3者協議を実施し、運航に関する基本事項を取り纏めました。 国土交通省に対して運航許可申請、岸壁埠頭保安規定の変更利用申請を提出しました。 CIQ関係省庁と協議を行い、船内改修後の船内確認を実施しました。
	3. 評価	○
		当初、4月からの運航開始予定であったが、7月に運航開始が遅れました。運航開始時期が遅れたものの、国土交通省からの運航許可及び岸壁埠頭保安規定については承認の内諾をいただきました。
	4. 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 7月の運航開始までに、国際航路の混乗運航に係る共同記者発表や地元住民への説明会を開催し周知を図ります。 今後も航路事業者及び関係省庁と協議を行い、国内旅客が利用しやすくなるよう取組を進めていきます。

全体	11
個別	02-09

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	地域主導のまちづくりの強化・推進のため地域マネージャー制度を見直します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>「地域自らが考える将来ビジョン」である『地域づくり計画』は29か所（87行政区）、『行動宣言』は54か所（98行政区）での策定に留まっています。また、職員数の減少に伴う業務量の増加や地域課題の多様化・複雑化などを背景に、同制度が掲げた役割を果たすことができていない地域も見受けられます。</p> <p>そこで、地域の実情や従事する職員の実情を考慮し、環境変化に対応できる制度への見直しを図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度見直し後の運用方法の確立 ・地区説明会の開催 ・校区会議の開催 	
	2. 実績(成果)	
		<p>○28年度に区長・内部集落支援員・地域マネージャーに対して実施したアンケート調査の検証を行い、現状の課題と今後の運用にあたっての方針を決定しました。</p> <p>○対馬市市民協働（共働）推進本部会議を開催し、制度見直しについて協議しました。</p> <p>○職員に対し、制度見直しの方向性について説明会を実施しました（12会場）。</p> <p>○職員に対し、再度配置登録の希望調査を実施しました（派遣・休職以外406名）。</p> <p>○希望調査をとりまとめ、校区単位での配置を決定しました。</p> <p>○校区会議を開催し、行政区やエリアごとの配置を決定する予定でしたが、日程調整不足により、次年度に繰り越しました。</p>
	3. 評価	△
		<p>○「つなげるためにつながる」をテーマに、制度発足当時と現在とのギャップを埋める作業を行いました。</p> <p>○「活動ゼロ」をいくらかでも上乘せし、地域と地域マネージャーがつながる「しかけ」づくりを行いました。</p> <p>○目標の達成には至りませんでした。次年度への布石を打つことはできました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>○新年度の早い時期に「校区会議」を開催し、行政区やエリアごとの配置決定を行い、区長をはじめとする地区との連携体制を構築します（H30年4月実施済）。</p> <p>○年度当初の区長会議において、新配置をお知らせします（H30年4月実施済）。</p> <p>○定期的に「校区会議」を開催し、地域マネージャー同士の情報共有や連携強化に努めます。</p> <p>○定期的に地域マネージャーに対し、地域とのつながり状況を確認し、サポートに努めます。</p>

全体	12
個別	02-10

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項 目	U・Iターン推進事業
	1. 組織目標	
	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ窓口「しまぐらし応援室」を開設し、U・Iターン者に対応します。 ・対馬市移住・定住支援補助金を交付し、U・Iターン者数の増加を図ります。 ・対馬市移住・定住促進住宅を整備し、移住希望者へ貸し出す「移住お試し住宅」と移住後の定住支援のための「定住支援住宅」の運用を開始します。 ・各種移住相談会等への参加をはじめ、情報発信を続けていきます。
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・U・Iターン関係相談者数 50名 ・移住者数 10名
	2. 実績(成果)	<p>○【補助金交付実績】ふるさと就職奨励補助金：6組600,000円、結婚移住奨励補助金：5組250,000円、しま暮らし支援補助金：25組3,239,000円、空き家改修費等補助金3組876,000円 総計：39組4,965,000円</p> <p>○しまぐらし応援室運営委託として、民間住宅情報を収集、データ化を実施。また先輩移住者を取材し、移住者の生の声をパンフレットに掲載しました。</p> <p>○移住お試し住宅の改修と家具等の購入を行い、29年8月から運用を開始しました。6組11名が利用しました。移住お試し住宅利用後の移住実績は年度末時点では0件です。</p> <p>○全国各地で開催されたながさき移住サポートセンター主催の移住相談会に参加し、対馬市の情報発信と移住希望者への対応を行いました。福岡での相談会に会場された方1名のUターン実績がありました。</p> <p style="text-align: center;">◆U・Iターン関係相談者数：67名 ◆移住者数：58名</p>
	3. 評価	○
		<p>相談対応者数、移住者数共に目標数は上回ったが、この結果は29年度から開始した補助金の申請者と相談者が大半を占めており、ほとんどの方は対馬に移住することを既に決めていたのが現状です。今後は、Uターンの方には対馬に帰ってみようと思わせるような、Iターンの方には対馬を移住先として選んでもらえるような施策展開が必要と考えます。</p>
	4. 今後の展開	<p>対馬市が望む移住者ターゲットを「子育て世帯」と設定し、ターゲットに合わせた情報発信や環境整備を実施します。また、補助金申請により移住者の情報を把握しやすい環境は整ったため、今後は、移住後のフォローを充実させ、移住から定住につながる仕組みを構築します。</p>